エコアクション21
環境経営レポート

令和2年度

令和2年６月～令和3年５月

静岡市給排水指定工事店
WATANABE
株式会社 渡辺工業

〒422-8063 静岡県静岡市駿河区馬渕 2-16-38

令和３年 ７月 30 日 作成

目　次

Ⅰ. 組織の概要 ・・・ Ｐ １

Ⅱ. 組織図及び実施体制 ・・・ Ｐ ２

Ⅲ. 環境経営方針 ・・・ Ｐ ３

Ⅳ. 環境経営目標 ・・・ Ｐ ４

Ⅴ. 環境経営活動計画 ・・・ Ｐ ５

Ⅴ. 環境経営活動計画 ・・・ Ｐ ６

Ⅵ. 環境経営目標の実績 ・・・ Ｐ ７

Ⅶ. 環境経営活動計画の取り組み結果とその評価 ・・・ Ｐ ８
次年度の取り組み内容

Ⅷ. 当社の取組み ・・・ Ｐ ９

Ⅸ. 地域貢献活動 ・・・ Ｐ 10

Ⅹ. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果 ・・・ Ｐ 11
並びに違反、訴訟等の有無

Ⅺ. 代表者による全体評価と見直し・指示 ・・・ Ｐ 12

Ⅰ　組織の概要

〈1〉 事業者名　　株式会社　渡辺工業

〈2〉 代表者氏名　　代表取締役　安森　和人

〈3〉 所在地　　本社（事務所）:　　静岡県静岡市駿河区馬渕2丁目16番38号
　　中島資材倉庫:　　静岡県静岡市駿河区中島2566番地の5

〈4〉 事業内容　　上下水道管敷設工事、舗装工事、道路改良工事、産業廃棄物収集運搬業

〈5〉 従業員数　　１８名

〈6〉 現場管理責任者　　渡邉　章人
　　連絡担当者　　鈴木　徳三

〈7〉 連絡先　　TEL　　054-285-9178
　　FAX　　054-287-4996
　　（E-mail:　w.k-1988@joy.ocn.ne.jp）

〈8〉 建設業許可
　　建設業
　　静岡県知事許可 （特－28） 第26025号、（般－29） 第26025号
　　産業廃棄物収集・運搬
　　静岡県　第 02201055050 号
　　許可　平成30年　7月　28日　～　令和5年　7月　27日　　５年間

〈9〉 事業の規模
① 設立（現在地）　　昭和 63 年 10 月 19 日　　資本金　　3,500万円

② 事業規模

活動規模	単位	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R2年（H29年比）
売上高	百万円	411	415	494	659	160.3%
従業員	人	21	20	18	18	85.7%
事業所床面積	m^2	74.25	74.25	74.25	74.25	100.0%
資材置場床面積	m^2	594	594	594	594	100.0%
収集運搬量	t	66.0	15.4	2.0	19.7	－

〈10〉 事業年度
　　６月１日　～　翌年５月３１日

〈11〉 認証・登録の対象範囲
　　活動:　　全事業活動
　　対象組織:　全組織

〈12〉 産業廃棄物処理業における施設等の状況
　　事業の区分　収集運搬（積換え及び保管行為を除く）
　　収集運搬車両の種類と台数　・4tダンプ　６台、　・3tダンプ　２台

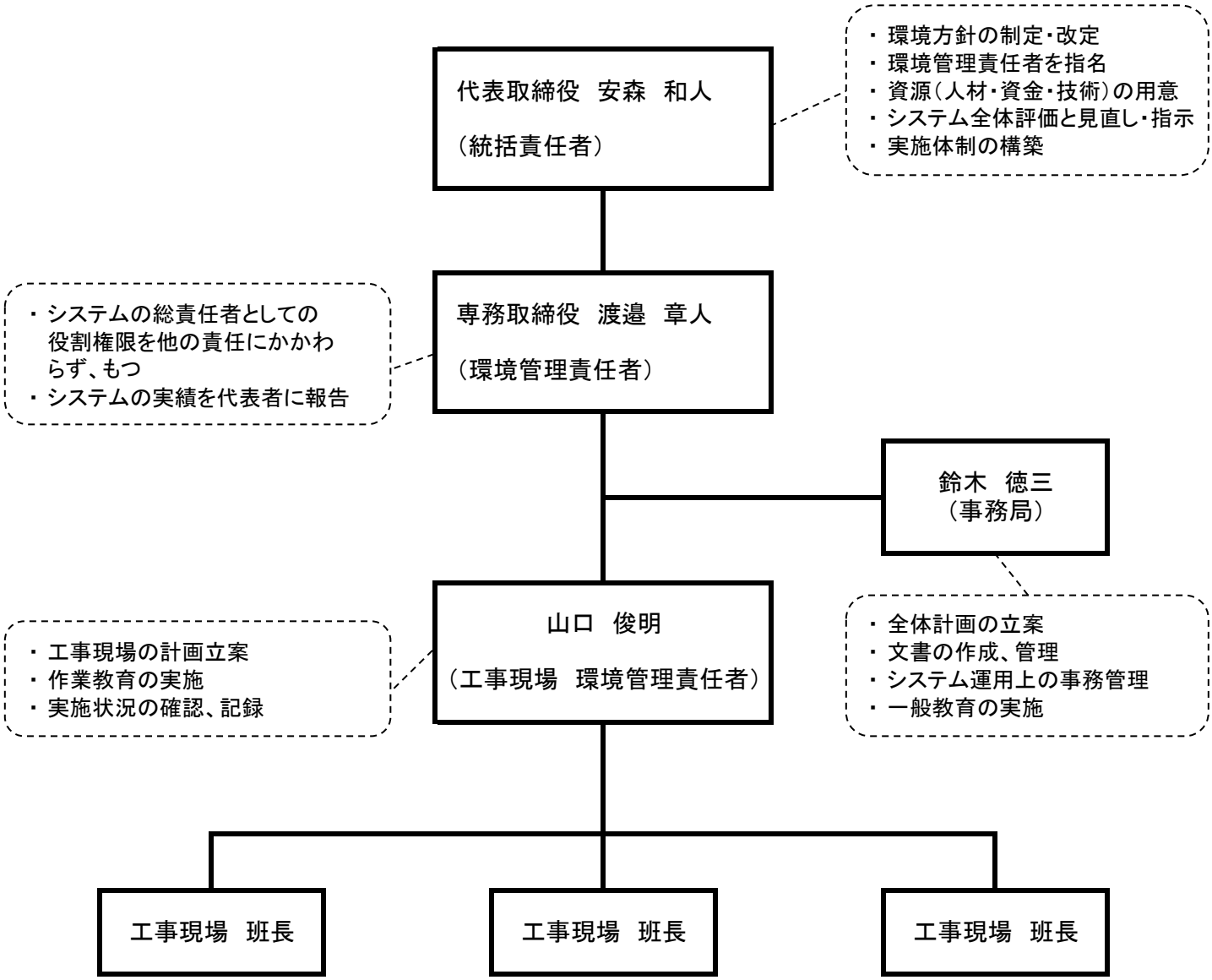
〈13〉 産業廃棄物の種類　廃プラスチック（石綿含有廃棄物を除く。）、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有廃棄物を除く。）、がれき類（石綿含有廃棄物を除く。）、木くず　以上５品目

〈14〉 積替保管施設の許可の有無　：　無

〈15〉 産業廃棄物収集運搬量　：　ガレキ類　１９．７ｔ

Ⅱ　組織図及び実施体制

（　）内はエコアクション21担当



Ⅲ. 環境経営方針

環境経営方針

［環境理念］

株式会社　渡辺工業は、自然豊かな静岡市駿河区に位置し、下水道設備の工事など建設業を通じ、近隣の美しい環境、さらには地球環境を保全するため、環境と経済の好循環を図りながら、事業に伴う環境負荷をできるだけ減らすと同時に、経営的な効果を含めて、積極的に環境保全活動に取り組む企業を社員一同目指します。

［基本方針］

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を低減する事と共に経費の削減に取り組み、環境に配慮した活動を目指します。そのために、次項を実行することにより、継続的な改善と汚染の予防に努めます。

１．　環境負荷の低減と環境保全活動への取り組み

1) 省エネ(電気･化石燃料)活動の推進によりCO_2(二酸化炭素)排出量を減らします
2) 3R(Reduce/Reuse/Recycle)活動の推進により廃棄物の排出量を減らします
3) 水道水の使用を減らします
4) 地域の清掃活動を積極的に行うなど、地域や現場で愛される企業を目指します
5) 建設系廃棄物の発生抑制･削減･リサイクルに努めます
6) グリーン購入に努めます

２．　環境関連法規制等の遵守

環境関連法規制等を遵守し、法規制に対し、責任･信頼感ある企業を目指します。

３．　環境経営の継続的改善

環境経営の改善を継続的に実施することを目指します。

４．　環境コミュニケーションの積極的実施

社外においては、環境活動レポートを公開し、利害関係者をはじめ市民とのより良いコミュニケーションを実践します。
社内においては、全社員に、毎月実施する安全講習にあわせて、この環境方針及び必要事項を周知し、全社員参画による取り組みを目指します。

制定日　平成21年8月1日
改訂日　令和 3年5月1日
株式会社　渡辺工業
代表取締役　安森　和人

Ⅳ. 環境経営目標

短期・中期環境目標

購入電力二酸化炭素排出係数　中部電力（令和1年度）の「0.431kg-CO_2/kWh」

	項目		単位	令和1年度 基準年（実績）	令和2年度 目標	令和3年度 目標	令和4年度 目標
二酸化炭素	全社の二酸化炭素排出量		kg-CO_2	114,693	0～−0.5%	0～−0.6%	0～−0.7%
	事務所及び資材倉庫での二酸化炭素削減		kg-CO_2	8,463	0～−0.5%	0～−0.6%	0～−0.7%
			kg-CO2/百万円	17.1			
		購入電力	kWh	11,428	0～−0.5%	0～−0.6%	0～−0.7%
		灯油	L	891	0～−0.5%	0～−0.6%	0～−0.7%
		都市ガス	Nm^3	151	0～−0.5%	0～−0.6%	0～−0.7%
	建設現場での二酸化炭素削減		kg-CO_2	106,230	0～−0.5%	0～−0.6%	0～−0.7%
			kg-CO2/百万円	215.0			
		ガソリン	L	12,438	0～−0.5%	0～−0.6%	0～−0.7%
		軽油	L	29,990	0～−0.5%	0～−0.6%	0～−0.7%
廃棄物	一般廃棄物の排出量		t	0.0135	0～−0.5%	0～−0.6%	0～−0.7%
	当社の建設副産物リサイクル率		%	100.0%	95～97%	95～97%	95～97%
水道使用量の削減			㎥	186	0～−1% 若しくは330m3以下	0～−1% 若しくは320m3以下	0～−1% 若しくは310m3以下
事務用品のグリーン購入の推進				-	エコ製品としての文具を購入する	エコ製品としての文具を購入する	エコ製品としての文具を購入する
環境に配慮した自社の取り組み （環境配慮工事の提案）				-	低排出ガス・低騒音型の重機を選択する	低排出ガス・低騒音型の重機を選択する	低排出ガス・低騒音、低震度型の重機を選択する 周辺の苦情を無くす
地域への社会貢献			件	6	6	6～7	6～7

※基準年度（実績）は、活動基準年度より、前年度の基準値を設定とする。

Ⅴ. 環境経営活動計画

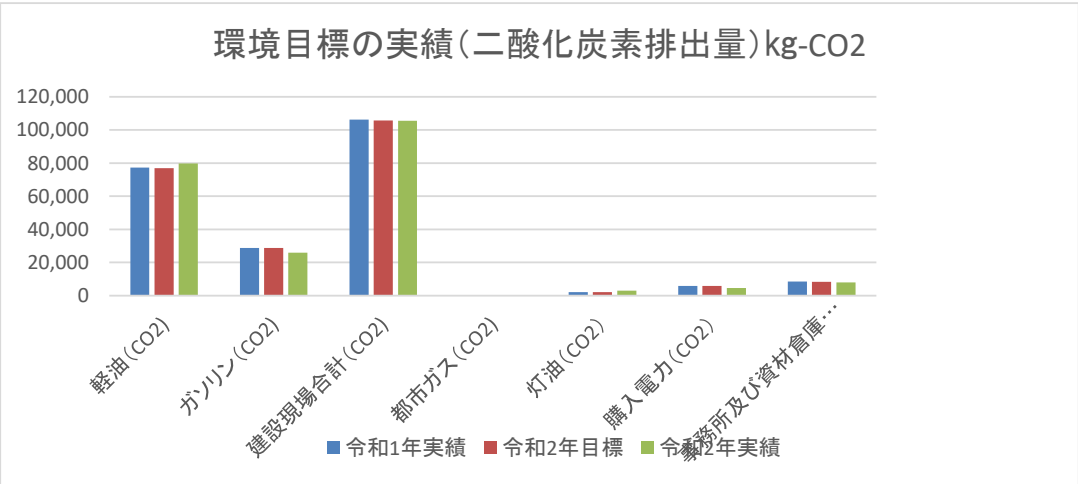
目的	項目	活動項目	担当部署	担当者	具体的活動内容	実施スケジュール 令和4年度決算期 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
二酸化炭素の削減	自動車及び建設機械の燃料(ガソリン、軽油)の消費を削減	1 エコドライブの推進	工事現場・事務所	各工事現場の班長 事務員	・各社員によるエコドライブの自己評価 ・毎月の燃料消費量の推移を社員に周知し、翌月以降の改善を図る ・災害防止協議会の際に安全教育資料等を用いて、研修	○点検・改善	○点検・改善	○点検・改善	○点検・改善	○点検・改善	○点検・改善	○点検・改善	○点検・改善	○点検・改善	○点検・改善	○点検・改善	○点検・改善
		・急発進、急加速、空ぶかしをしない															
		・アイドリングストップを心がける															
		・低速走行を心がける															
		2 車両の点検整備の励行	工事現場・事務所	各工事現場の班長 事務員	・各社員による自主的な点検・実践		○点検・改善			○点検・改善			○点検・改善			○点検・改善	
		・タイヤの空気圧は適正にする															
		・不用物は車両に積まない															
		3 冷暖房の設定温度は控えめにする	工事現場・事務所	各工事現場の班長 事務員		夏・冬場の管理(夏3ヶ月・冬3ヶ月)											
		4 同一現場であれば可能な限り相乗りする	工事現場・事務所	各工事現場の班長 事務員													
		5 重機の省エネ運転を推進する	工事現場		・一度にではなく上から掘削する ・効率の良い範囲で掘削する ・不要なアイドリングを防止												
		6 計画的に移動し、車両の走行距離を可能な限り減らす	工事現場・事務所														
	電力の消費を削減	1 不要照明の消灯	工事現場・事務所		・昼休みは事務所内照明を最小限に消灯												
		2 エアコンの設定温度を冷房は28度以上に、暖房が24度以下にする	工事現場・事務所		・設定温度(冷房は28度以上、暖房は24度以下)を周知するため、それを呼びかけるシールをリモコンに貼る	夏・冬場の管理(夏3ヶ月・冬3ヶ月)											
		3 パソコンの電源はこまめに切る	工事現場・事務所		・事務所内および現場事務所で事務局、工事現場責任者から口頭で依頼。												
		4 コピー機は使用しない際には節電モードにする	工事現場・事務所		・それぞれ口頭にて呼びかけ												

目的	項目	活動項目	担当部署	担当者	具体的活動内容	実施スケジュール 令和4年度決算期											
						6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
廃棄物のリサイクル	廃棄物の排出を削減	1 廃棄物ボックスに塩ビ管やその他を分別し、それが徹底されるように確認する	工事現場	各工事現場の班長		廃棄物ボックスで収集及び分別（通年） 廃棄物ボックスの廃棄状況の確認と指導（通年）											
		2 コピーの使用は、可能な限り少なくし、さらに両面印刷を励行する	工事現場・事務所	各工事現場の班長 事務員	・内部資料等は裏紙を再利用												
節水	水道の使用を削減	1 手洗い時等において節水を励行する	事務所	事務員	・自主的に実践する												
		2 水道の取付管をチェックし漏水が無いように確認	事務所	事務員	・年2回程度	漏水確認						漏水確認					
グリーン購入	グリーン購入の推進	1 事務用品のｴｺﾏｰｸ商品を購入する	事務所	事務員	・購入時に確認する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 継続的購入を実施する															
環境配慮工事	環境配慮工事の推進	1 第2・3次排出ガス対策型建設機械の利用推進	工事現場	各工事現場の班長	・レンタル及び購入時、国土交通省認定を選定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 低騒音、低振動型建設機械の利用推進															
		3 創意工夫			・施工計画書												
地域貢献	社会貢献への参加	1 三保の松原清掃活動	工事現場・事務所	各工事現場の班長	・2ヵ月に1回程度	○		○		○		○		○		○	
		2 作業所付近公共施設清掃活動			・毎月1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3 地元地域のイベント参加			・設置撤去片付け及び参加												
		3 インターンシップの実施			・地元生徒の受け入れ			○									

Ⅵ. 環境経営目標の実績

	項目		単位	令和1年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	評価
二酸化炭素	事務所及び資材倉庫での二酸化炭素削減		kg-CO_2	8,463	8,420	7,924(−6.4%)	○
			売上百万円当り	17.1	17.0	12.0(−29.8%)	
		購入電力	kWh	11,428	11,370	10,671(−6.6%)	○
		灯油	L	891	886	1,213(+36.1%)	×
		都市ガス	Nm^3	151	150	140(−7.2%)	○
	建設現場のCO2削減		kg-CO_2	106,230	105,698	105,629(−0.5%)	○
		ガソリン	L	12,438	12,375	11,170(−10.1%)	○
		軽油	L	29,990	29,840	30,897(+3.0%)	△
	二酸化炭素排出量合計		kg-CO_2	114,693	114,119	113,553(−0.5%)	○
			売上百万円当り	232.1	230.9	172.8(−25.5%)	
廃棄物	一般廃棄物の削減		t	0.0135	0.0134	0.0135	○
	建設副産物リサイクル率向上		%	100.0%	95～97%	99.98%	○
水道使用量の削減			m^3	186	184	174(−6.4%)	○
事務用品のグリーン購入の推進				-	エコ製品としての文具を購入する	エコ製品としての文具を購入した	○
環境に配慮した自社の取り組み（環境配慮工事の提案）				-	低排出ガス・低騒音型の重機を選択する	低排出ガス・低騒音型の重機を選択した	○

	軽油(CO_2)	ガソリン(CO_2)	建設現場合計(CO_2)	都市ガス(CO_2)	灯油(CO_2)	購入電力(CO2)	事務所及び資材倉庫合計(CO2)
令和1年実績	77,374	28,856	106,230	326	2,218	5,919	8,463
令和2年目標	76,987	28,711	105,698	324	2,206	5,889	8,419
令和2年実績	79,714	25,914	105,629	302	3,022	4,599	7,924



＜評価のコメント＞

購入電力	原因分析	完全週休２日の取組み残業・公出が減り、事務所内のエアコン・OA機器等、電気を使用する時間が少なくなった事が要因
現場のガソリン	原因分析	今年度も、資材置場近隣の工事が多かった為
灯油	原因分析	今年度、資材倉庫にジェットヒターを増設（1個）した為
現場の軽油	原因分析	前年度工事高と比べ、今年度工事高（仕事量）が増加した事が原因
建設副産物リサイクル率向上	原因分析	Co殻やAs・Co殻が大量に発生する現場が多い時は良いが、目標99.9%は目標値としては厳しすぎると感じた前年度から、今年度の目標を、97～98%程度に設定した為

Ⅶ. 環境経営活動計画の取り組み結果とその評価　次年度の取り組み内容

目的	項目	活動項目	評価		今後(次年度)の取組
			評価	内容	内容
二酸化炭素の削減	自動車及び建設機械の燃料(ガソリン、軽油)の消費を削減	1 エコドライブの推進			
		・急発進、急加速、空ぶかしをしない	○	実施された	継続実施
		・アイドリングストップを心がける	○	実施された	継続実施
		・低速走行を心がける	○	実施された	継続実施
		2 車両の点検整備の励行(作業前に点検)			
		・タイヤの空気圧は適正にする	○	実施された	継続実施
		・不用物は車両に積まない	○	実施された	継続実施
		3 冷暖房の設定温度は控えめにする	○	実施された	継続実施
		4 同一現場であれば可能な限り相乗りする	○	実施された	継続実施
		5 重機の省エネ運転を推進する	○	実施された	継続実施
		6 計画的に移動し、車両の走行距離を可能な限り減らす	○	車両運転記録票の配付、記入	継続実施
	電力の消費を削減	1 不要照明の消灯	○	徹底されている	継続実施
		2 エアコンの設定温度を冷房は28度以上に、暖房が24度以下にする	△	掲示→徹底されている	継続実施
		3 パソコンの電源はこまめに切る	○	徹底されている	継続実施
		4 コピー機は使用しない際には節電モードにする	○	徹底されている	継続実施
		5 フィルターの定期清掃(夏冬に1又は2回程度)	○	ほぼ実施された	継続実施
	灯油の消費を削減	1 ウォームビズ	○	ほぼ実施された	継続実施
廃棄物のリサイクル	廃棄物の排出を削減	1 廃棄物ボックスに塩ビ管やその他を分別し、それが徹底されるように確認する	○	ほぼ実施された	継続実施
		2 コピーの使用は、可能な限り少なくし、さらに両面印刷を励行する	○	裏紙使用	継続実施
節水	水道の使用を削減	1 手洗い時等において節水を励行する	○	実施された	継続実施
		2 水道の取付管をチェックし漏水が無いように確認(半年に1回以上)	○	実施された	継続実施
		3 トイレや流し台に注意書きを貼る	○	実施された	継続実施
グリーン購入	グリーン購入の推進	1 商品を購入する際は、エコ商品かを確認をする	○	実施された	継続実施
		2 継続購入する	○	実施された	継続実施
環境配慮工事	環境配慮工事の推進	1 低騒音・低振動建設機械の確認及び使用	○	実施された	継続実施
		2 環境対策型建設機械を使用する	○	実施された	継続実施
		3 創意工夫を施工計画書に明記・実施する	○	実施された	継続実施
地域貢献	社会貢献への参加	1 三保の松原清掃活動	○	実施された	継続実施
		2 作業所付近公共施設清掃活動	○	実施された	継続実施
		3 地元地域のイベント参加をする	○	実施された	継続実施
		4 インターンシップの実施	○	実施された	継続実施

Ⅷ. 当社の取組み

緊急事態の想定結果及びその対策

　車両や重機等により油・軽油などの流出事故が、起きたことを想定し、
令和2年9月、令和3年2月に社内（中島資材置場）にて、2回の防災訓練を行った。
（緊急事態想定訓練に対する考察）
①目標時間を設定し、速やかに対応できるようにした。
②資材置場や現場での軽油やオイル類が漏れた事を想定しての訓練を社員で役割分担を決め、
　その役割を交替で行った。
③油吸着マットは、各車輌に保管し、枚数や状態等を確認する。
④作動油や軽油が大量に流出すた事も想定し、中島資材置場に約５０枚以上、本社（駿河区馬渕）
　にも常時５０枚以上の保管状況を確認する。

置場での作動油流出を想定した訓練①

置場での軽油流出を想定した訓練②

油吸着マット、本社保管状況

油吸着マット　車輌への保管状況確認
【3TD　6211】

Ⅸ. 地域貢献活動

令和２年度　三保の松原清掃美化活動

富士山世界文化遺産を構成する景勝地が松枯れの被害にある事から、松原の美しさを保つ為、NPO法人三保の松原・羽衣村主催のもと、2ヶ月に1回程度、毎年継続した弊社の清掃活動を行っている。

X. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認者　鈴木徳三

環境関連法規等の名称	手続き・遵守事項	文書・記録（例）	評価	確認日
廃棄物処理法 収集運搬実績報告	委託基準 1. 委託先の許可証確認	・収集運搬及び処分業者の許可証の確認 ・中間処理場等の現地確認	○	令和3年5月31日
	委託基準 2. 委託契約の締結 3. 契約書の5年間保存	・委託契約書の内容確認（委託金額、産業廃棄物の種類、性状、性状等変更情報の伝達方法等）	○	令和3年5月31日
	マニフェストの交付 1. 交付義務	・適合マニフェストを使用	○	令和3年5月31日
	マニフェストの交付 2. 回収・照合（発行後　B2票、D票90日以内、E票180日以内） 3. 保管（5年間）、未回収戻り票の報告 4. 交付状況報告（前年度実績を毎年6月30日までに報告）	・マニフェスト管理台帳にて回収日の管理、A票の照合欄チェック。（回収期間内に返送され、法定事項記載確認済み）	○	令和3年5月31日
	積み上げ高さの厳守、風雨等に対する適切な管理、保管場所の掲示	・保管基準を掲示	○	令和3年5月31日
静岡県・静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託先の実施確認と記録の保存	・年1回の現地確認 ・現地確認記録の保管	○	令和3年5月31日
資源の有効な利用の促進に関する法律	・発生抑制（施工方法、資材選択） ・再利用、再生利用、再資源化努力		○	令和3年5月31日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	資源の再資源化の推進		○	令和3年5月31日
大気汚染防止法	低燃費車の導入、アイドリングストップ、急発進・急停車の抑制、エアコンの抑制、排出ガス対策型車両の使用	排出ガス対策型車両 ステッカー確認 年次点検表 各工事の写真帳	○	令和3年5月31日
騒音規制法	くい打機、削岩機、空気圧縮機、コンクリートプラント・アスファルトプラントを設けて行う作業、バックホウ、トラクターショベル、ブルドーザー低騒音型車両の使用	・市への事前確認 ・届出書	○ （該当無し）	令和3年5月31日
振動規制法	低振動型車両の使用 特定建設作業の振動が ・75デシベルを超える作業 ・夜間作業等の場合	・市への事前確認 ・届出書	○ （該当無し）	令和3年5月31日
家電リサイクル法	冷蔵庫等の製品廃棄時の適切な引き渡し		○ （該当無し）	令和3年5月31日
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払いならびに引取業者への引き渡し		○ （該当無し）	令和3年5月31日
フロン排出抑制法	冷凍空調機器：全ての第一種特定製品(機器)が対象	管理者自身が目視で簡易点検実施(3か月に1回以上)	○	令和3年5月31日

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

XI. 代表者による全体評価と見直し・指示

作成　令和3年5月31日

	項　目		確認　：(必要に応じて評価・コメント記載)	
1・見直し関連情報	1	エコアクション21文書	☑	記録・文書は、ガイドライン2017年度版として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☑	現場の軽油、中島資材倉庫の灯油は未達成
	3	環境経営活動計画及び取り組み実施状況	☑	継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☑	記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☑	苦情・要望等はありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑	特に問題ありませんでした。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☑	別紙報告の通り
	8	その他(　　)	□	

2・代表者による全体評価・見直し指示

1)今年度、現場の軽油使用量が目標を達成できなかったのは、前年度に比べ工事高(仕事量)が増えた事が原因とされるが、その中でもダンプ・重機の扱いには、燃費等に意識を持ちながら活動をしていく事を指導する。

2)これからも、引き続き各職員にエコドライブを心掛けるよう働き続けていく。

3)購入電力は目標を平行状態となっているが、本社事務所や現場事務所それぞれで不在時の消灯やエアコンをつけっぱなしをしないなどの指導をしていく。

4)灯油については、約36%の増加となったのは、現場ヒーターを増設した事が考えられるが、今後更に冬場のウォームビズを心掛けるよう促していきたい。

5)会社全体の二酸化炭素の排出量について、建設現場のCO_2量は0.6%減少し、事務所・資材置場も減少している。引き続き建設現場で協力会社のメンバーを巻き込んで一人一人がエコ活動を意識的に取り組んでいただくことを要望したい。

6)廃棄物は分別しているが、混合廃棄物の中でリサイクル可能なものの見落としがないよう更に分別を細分化するなどの対策をしていく。

今後も、朝礼などでエコアクション21への積極的な取り組みを促していく。

令和3年7月23日　　株式会社渡辺工業

代表取締役　安森和人

見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・(無)	
2	環境経営目標	(有)・無	未達成になった要因を把握し目標の立て方を検討すること
3	環境経営活動計画	有・(無)	
4	環境に関する組織	有・(無)	
5	その他のシステム要素	有・(無)	
6	その他(外部への対応)	有・(無)	